**五段以下審査会について**

**形と実技の審査内容**

初段　　・形、1本目～5本目　　実技・1本目～3本目

二段　　・形、1本目～7本目　　実技・1本目～5本目

三段　　・形、1本目～10本目　 実技・1本目～7本目

四、五段・形、　〃　　　　　 実技・1本目～10本目

**注意**

1. 筒袖で上下同色の稽古衣。②すべりにくい足袋は着用可能。③連盟指定サイズの名札。④形と実技は同じ真剣で連盟規定を厳守する。(1級は模擬刀可能)

刀剣検査で安全性を確認します。⑤ 受講証を審査前に提出してください。

**学科問題**

初段　　　①日本抜刀道連盟の綱領を記せ(教本の表紙裏を参考)

　　　　　②1本目から5本目までを記せ(教本P11～P 15参考)

二段　　　①携刀姿勢で出場し、神座への礼～初めの刀礼～帯刀姿勢となり、終わりの刀礼までを記せ(教本P9～10、解説P5～7参考)

　　　　　②1本目から7本目までを記せ(教本P11～P17参考)

三段　　　①刀の抜き方～斬り込み～斬る角度～刀の納め方～納刀後までを記せ(教本P4～6参考)

　　　　　②1本目から10本目までを記せ(教本P11～P20参考)

四段　 ①10本目までの斬る部位を図で示し心得を記せ(教本P8、解説26参考)、相手を斬った後の退く方向をまとめ図で示せ(解説P27参考)

1. 盟組太刀1本目から5本目までを記せ(教本P24～P28参考)

五段　　　①熱中症の予防と怪我人への対処方法について記せ(解説P19参考)

②定刀法1本目から10本目までと、組太刀1本目～5本目までを

　記せ(教本P11～P28 参考)

原稿用紙に受審段位、支部名、氏名、問題を記入し400字詰め原稿用紙5枚以内で当日提出する。学科の提出がない場合は失格とする。